

21) ドクトル岩田嘉市郎著 通俗医学叢書 第一編 口腔衛生について

A library of the Popular medicine 1st "Oral hygiene" written by Dr. Kaichiro Iwata

日本大学松戸歯学部 山口秀紀, 渋谷 鉦, 渋谷幸男, 谷津三雄

Hiddenori Yamaguchi, Koh Shibutani, Yukio Shibutani and Mitsuo Yatsu,
Nihon University School of Dentistry at Matsudo

関東大震災から半年も経たぬ大正十三年二月、日本通俗医学社は、本国における口腔衛生の普及を緊急の課題とし、自社月刊雑誌「通俗医学」に連載された口腔衛生に関する増補版「通俗医学叢書 第一編 ドクトル岩田嘉市郎著 口腔衛生」を発行した。

本書は縦 18.5×横 12 cm 大の和綴本で、全 86 ページからなっている。本書の書名は表表紙には「口腔衛生」とあり、中表紙にある「口腔及歯牙の衛生」と異なっている。巻末には、大正十三年二月十五日発行『定価金五拾銭』『送料金六銭』、著作者 岩田嘉市郎、発行者 吉田武雄、印刷者 橋本正隆、発行所 日本通俗医学社と記載されている。

表紙の裏には、「生活改善よりも生存の改善 一家団欒は健康であります」に続き「今回斯界の泰斗ドクトル岩田嘉一郎氏に請ひしに氏は公私多端に不拘喜んで執筆多年北米に於いて研究せる蘊奥を披瀝せられ茲に本冊子を刊行するの機会を得たるは誠に本社欣快とする所である。更に此の際ライオン歯磨本舗小林商店大阪支店長山崎氏は此の趣旨に多大の賛意を表し印刷の費を補助せられ為に本書発行上多大の便益を得たるは自他共に大いに感謝せねばならぬところで茲に特筆して敬意を表す次第である」とあることから、本書は日本通俗医学社が岩田嘉一郎氏に執筆を依頼し、ライオン歯磨が印刷費を援助して発行されていた事がわかる。

また、著者によるはしがきには「本書は曩に約八ヶ月に渉りて『通俗医学』に連載せる拙稿に多大の増補を加へ、猶二三の新編を追補せるもの幸に之れによつて比較的軽視され誤られたる歯の衛生法が一般家庭や学校で注意さるゝようになれば著者の望みが足るのである。」とあり、また本書末尾に月刊雑誌通俗医学の案内広告が記載されてい

ることからも本紙が月刊 通俗医学の増補版であったことを知ることができる。

本書の内容を見ると、第一章 たれも心得ておかねばならぬ消化器の解剖と生理 (1~15 頁) には、「口は顔の最下方に開いた楕円形の空洞で、その入口は知覚の鋭敏な筋肉で上を上唇下を下唇といふ。厚きは愚鈍の相で薄きは軽薄才子を意味するといはれているが、真疑の程は保証の限りではない。この上下唇の間を口裂といひ、大なるは四ツ谷怪談のお岩の如くもの凄し。両隅を口角と呼ぶ。口角泡飛ばすは此處のことで、おしゃべり過ぎた時の形容詞である。上唇と下唇の正中に歯齦と連続して粘膜の襞がある。上下唇繫体が異常な発育すると中切歯は左右に開いて容貌を害う事が甚だしい。世俗両親に早く離れるという迷信のあるを知るもの多けれど衛生上これを切除して歯を原位置に復する医術あるを知るもの甚だ少ない。唇の左右は頬で、肉付きよきは圓福家の相をなし、こけ落しは貧相にして神経質の者に多い。」などと人相との関係なども文中に取り入れて、口腔衛生教育書としてばかりではなく読み物としても楽しめるように書かれている。第二章 食物と歯はどんな関係があるか (16~41 頁) では、身体の構成要素やエネルギー、カロリー、三大栄養素、ビタミン、ミネラルなど、今日の栄養学の内容について書かれている。第三章 どうすれば歯が強くなるか (42~51 頁)、および第四章 どうして歯列が悪くなるか (52~58 頁) では、今日の小児歯科学や歯科矯正学についての話題を取り上げており、上顎前突および下顎前突の症例の咬合模型と歯列矯正を行った術前・術後の写真を掲載している。第五章 むし歯と全身病はどんな関係があるか (59~62 頁) に次ぐ第六章 むし歯の予防で消費節約の問題も解決される (63~66 頁) では齲蝕と所謂医療経済との関係についても言及し、よ

く嚙んで食べることが消費節約にもつながり、日本国民の生命をも延長し国家と家庭の幸福を増進する最良策であると述べている。第七章 歯刷の話（67～78 頁）は「強制的に行ふ家の掃除より口腔の清潔法を勘考せよ」の項に始まり、歯brush 選択の重要性、様々な歯brush の特徴、保存法などについて参考写真を載せながら述べている。第八章 小学校に於ける口腔衛生とはどんなものか（75～86 頁）では小学校における口腔衛生の重要

性について、歯痛と学校の出席率や歯科疾患が学童の心理上の影響に就ての調査など著者自身が行った研究結果を紹介している。また後半では清美第五小学校と天王寺第五小学校における歯brush 教練の様子と実際の指導方法を写真とともに紹介し、その成果を海外の事例を交えながら報告している。本冊子の裏表紙には印刷費の補助を行ったライオン歯磨の広告が載せられている。